

こども家庭センターだより

あした

明日もしあわせ通信 (第86号) 令和5年8月号

人生100年の根っこ

6月から利用が始まった「おおぞら」に、毎日勤めている田井通臣です。不登校や引きこもり等のため、家庭で多くの時間を過ごしている小中学生にとって、ゆったりと心と体の充電ができる居場所にしていきたくと思っています。

「おおぞら」では庭の周りを利用して、サルビアやひまわり、朝顔、アジサイなどの草花をはじめ、利用者と一緒に収穫するために、トマトやキュウリ、ナス、ピーマン、サツマイモ、ゴーヤ、スイカなどの野菜を育てています。

初めて植えた土地が気に入ったのか、多くの野菜は順調に育っていますが、他の野菜に比べて、ナスだけは元気がありません。

私たちは、目に見える地上の茎や葉の状態を見て、育ち具合を判断することが多いものです。しかし、「おおぞら」のナスは、今は地下で根を張るのに力を入れて、水や肥料をどんどん吸収して大きく成長するタイミングを見計らっているのかもしれない。



人生100年時代と言われています。各ライフステージで、将来につなげるために、どのように対応するかは、人それぞれです。

「おおぞら」では、同年代の子どもとは違う時間の過ごし方をしているみなさんの、将来につながる根っこづくりを応援していきます。
(T. T)

教育支援教室「はばたき」 ～心をつなぐカレーライス～

子どもたちが、毎週バドミントンで使わせてもらっている児童センター「みんくる」から、朝なぎ会のみんなが作っている掘りたての玉ねぎとジャガイモを分けていただきました。子どもたちは大喜びでその玉ねぎとジャガイモを使って、7月の調理実習でカレーライスを作りました。

すると、「自分たちのカレーライスも食べてもらいたい。」という声があがり、張り切って作り始めました。小さいジャガイモまで丁寧に皮をむいていました。

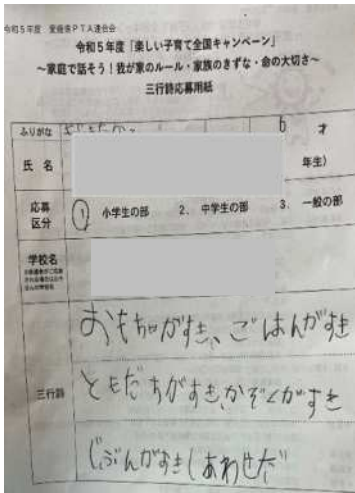
子どもたちは自分たちのことを思って届けてくれたことがうれしくて、自分たちもうれしい思いを届けたかったのだと思います。

突然持っていったカレーライスに、「おいしそう。」と今度は反対に喜んでもらい、子どもたちもうれしさを笑顔で表していました。うれしい気持ちを心と心でつないでいく場面でした。



はばたき教室では、人とかがわって話す機会を自然に作ったり、調理実習などの体験活動で自信をつけていたりしています。うれしい気持ちを伝え、心をつないでいくことは簡単なことではありませんが、子どもたちには優しさの心が育っており、確実に変化していていることは確かです。

人を信頼し、人から信頼してもらえらる大人へと成長していけるようにこれからも支援を続けていきたいと思っています。
(H・T)



はじめまして、こんにちは。4月より伊予市「こども家庭センター」に仲間入りさせていただいた心理カウンセラーの篠原さえです。

さて、この三行情紙は、今年の春、ピカピカの1年生になったT君が書きました。T君のお母さまが「Tが、こんな詩を書いていました。ちょっとびっくりしたのですけれど、こんなに心が育ってしてくれたのだと思うと、とっても嬉しくて…」と言って、写メを見せてくださいました。参観日に教室の後ろに掲示されていたそうです。

これを読むと、彼のまわりはたくさんの好きなものであふれているのがよくわかります。まわりにあるもの、食べるもの、まわりの人たち、身近な家族、そして何よりも自分。それを「しあわせだ」と感じる彼の心が、とてもいいなと嬉しくなりました。

私は、「自分が好きだ」「幸せだ」と感じることでできる子どもたちや大人が増えて欲しいと願っています。そのお手伝いをさせていただければと思います。「ちょっと困っちゃったなあ」「嫌いなものが増えてきたなあ」と思ったら、いつでも気軽に相談に来てください。「三人寄れば文殊の知恵」ともいいます。一人では大変なことも一緒に考え、時に立ち止まりながら前に進んでいきましょう。(S・S)

《おおぞら通信》

子どもの居場所「おおぞら」がオープンして2か月

毎日暑い日が続いていますが、お元気でお過ごしでしょうか。「おおぞら」では、子どもたちが気軽に参加できるようミニ遠足やわくわくクッキングなどのイベントを毎週計画しています。希望があれば毎日出かけることもできます。家でも学校でもない第3の居場所「おおぞら」で気兼ねなく自由に話したり遊んだり出かけたりしながら、ゆっくりと時間を過ごしてみませんか。



スタッフは、料理自慢・野菜作り・花づくり大好き・遠足好きな人ばかり「心のままに」過ごせる場所で、ありのままの姿のお子さんを受け

止めていきます。青くて高い夏の空に浮かぶ雲を一緒に見上げてみませんか。保護者の方からのご相談は、毎日受け付けております。

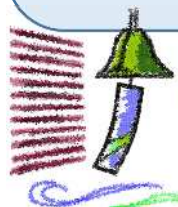
(N. K)

(相談時間：12時～20時 ☎ 989-5014)



どろんこ遊び

暑い日が続いていますが、今年の梅雨は雨がが多く、巡回時も雨の日がままありました。雨降りの中をはだして元気よく走り回る子、緩くなった地面に思い切りジャンプして足跡をつける子、バケツや樋に雨を受けて遊ぶ子、果てはずぶぬれ、泥だらけで歓喜の叫び声を上げる子など全身で遊びを楽しんでいました。子どもたちは雨が大好きです。どろんこも大好きです。こんな遊びを思い切りできるのは園ならではのですね。小学校ではここまで自由にどろんこ遊びをさせてくれませんか。いつもと違う感覚を、五感をしっかり働かせてたっぷり経験させるのはとても大切だと思いました。子どもたちが安全に活動できるよう事前の準備、点検とぐちゃぐちゃになった園庭を元通りにする作業、また泥だらけになった子どもたち一人一人にシャワーをし清潔になったことを見届けることなど、先生方のお仕事はなかなか大変です。一方、泥だらけの衣服を持ち帰った保護者の労力も察するに余りあるところです。どちらにも頭が下がります。(K. K)



伊予市こども家庭センター
伊予市総合保健福祉センター2階
伊予市尾崎3-1
☎989-6226
携帯 080-2974-4580